

和泉川いきものガイド

身近にふれあえるゆたかな自然



瀬谷区役所

いきものや緑が いっぱい!

鳥類



カワセミ

頭が青、背は空色、顔が栗色で、鮮やかな色合いです。水辺近くの小枝などに止まり、水中に飛び込んで魚やエビをつかまえます。



ゴイサギ

体の長さは約60cm、背が緑色、頭上は黒く2、3本の長く白い飾り羽が生えています。夜間に活動し、魚、カエルなどを食べます。



コゲラ

頭部は灰色がかかった茶色で、背と翼は、黒褐色と白の横縞模様、体下面は灰白色をしています。



コサギ

羽色は全身白色、くちばしは黒色、足の先は黄色です。繁殖期になると2、3本の長い飾り羽が生えます。魚、カエル、ザリガニなどを食べます。



ハクセキレイ

腹と顔は白く、背は黒で、目には黒色の線があります。長尾を上下に振り、チンチンと鳴きながら低く飛んでいます。



オオタカ

背は灰黒色、目の上に白い線があり、腹は白色に細かい灰黒色の横しまがあります。市内の生息数は少なく、希少種となっています。



オナガ

尾が長く、頭部が黒いのが特徴です。キューイキューイと鳴きます。瀬谷区の鳥として制定されています。



カルガモ

体の長さは約60cm、頭上は黒く、顔に2本の黒すじがあります。黒いくちばしの先が黄色くなっているのが特徴です。川辺の草地などに巣を作り、十数個の卵を産みます。



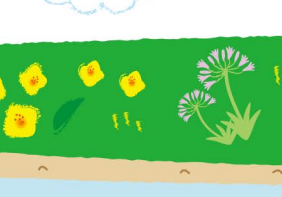
アユ

口が厚く歯はくし状になっていて、体の長さは10cm以上になります。体の色は背が淡褐色で、体の脇は銀色です。背の中央に淡黒色の線がはっています。



シロタニガワカゲロウ

昆虫で、腹の横に葉っぱのようなえらが並んでいます。尾は長く3本あります。流れの遅いところの石の上やすき間で見られます。きれいな水質環境で見られます。



アオダイショウ

体の長さは110~190cm。体の色は、淡緑色で、背に薄黒い縦しまがあります。木によく登り、鳥や卵などを食べます。毒はありません。



アキアカネ

体の長さは3.5~4.5cm。体の色は胸が黄色で、腹が赤色です。



オニヤンマ

体の長さは9~11cmで、トンボの中では最も大きいです。色は黒に黄色のしま模様です。きれいな水質環境で見られます。



ハグロトンボ

体の長さは5.5~6.5cm。羽が黒く、オスは体が金緑色です。繁殖期にはオスがなわばりを作り、草の上にとまり羽を開閉しています。



モクズガニ

大きいものではこららの幅は6cm以上になります。ハサミは毛が生えています。海で生まれて川で成長し、産卵のためにまた海に下ります。



アメリカザリガニ

はさみが強大で、10cm程度の体の長さと同じくらいになります。川の下よみや水際などで生活しています。



オオキンケイギク

5月~7月頃にかけ、鮮やかな黄色の花を咲かせます。繁殖力が強く、在来種を脅かすなど、生態系への悪影響が大きいため、特定外来生物に指定されています。

植物



アジサイ

6月から7月に花を咲かせます。土の酸性度によって花色は変化し、アルカリ性だと赤っぽく、酸性だと青っぽくなどと呼ばれています。また、開花日数によって花色が変化するため「七変化」とも呼ばれています。



ススキ

秋の開花期では高さ1.5~2m程になります。土手や護岸のすき間などの乾いた場所に生育します。カヤとも呼ばれ、かやぶき屋根や牛馬のエサなど農業にも利用されています。



ハンゲショウ

夏に花を咲かせ、高さ70cm~1m程度になる多年草です。上部の葉が半分だけ白くなり、半分だけ化粧をしているように見えることからつけられた名前です。



ヒガンバナ

9月中旬頃から末頃に花を咲かせます。ちょうど秋のお彼岸のころに咲くことから、ヒガンバナと名付けられました。真っ赤な花が印象的です。



ミソハギ

夏に花を咲かせ、目立つ紅紫色の花を多数つけます。觀賞用に栽培されることの多い、高さ1~1.5mほどの多年草です。



ヨシ

夏から秋の開花期では高さ2~2.5mに達します。湿地の地中に深く根を張り、青つ大型の多年草です。



アガパンサス

初夏に青や白の花を咲かせます。アガパンサスの名前は、ギリシャ語の「アガペ(愛)」と「アントス(花)」に由来しています。



カンナ

いろいろな種類が熱帯地域に広く分布していて、それらから1000近くの花芸品種が作り出されています。芋のような根を分けて増やすことができます。



バラ

バラと入のかかわりは3000年以上になりますが、庭などで見られるバラの多くは、19世紀になってから作り出されています。そのきっかけを作ったのは、中国と日本の野生バラでした。



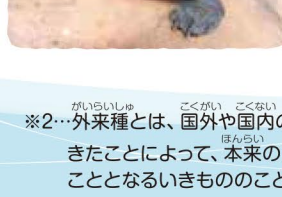
花

水辺愛護会の方が植えてくださっている主な花



鳥の調べ方

双眼鏡で見ながら観察し、種類を考えましょう。また、鳴き声も重要なので、その特徴も記録しておきましょう。



魚の調べ方

川岸に草が生い茂っている場所など魚がいない場所を見つけて、そっとタモあみを底につけて置き、足で踏んで、驚いた魚が逃げていくのをタモあみで待ち受けます。採集した魚はビニール袋に入れて、最後に写真を撮って放しましょう。写真はもとに種類を調べましょう。

魚・昆虫類



アブラハヤ

尾びれのつけねが細くなって、大きいものでは約10cmになります。背が黄褐色で、体の中央に黒色の縦しまがあります。繁殖期は春から夏です。きれいな水質環境で見られます。



オイカワ

背が淡い褐色、脇は銀白色です。春から夏の繁殖期には、オスは赤や緑が混ざった色になります。比較的流れの遅いところで見られ、和泉川でも多く見られます。



トウヨシノボリ

5~8月頃、石の下に卵を産み、オスが卵を守ります。雑食性で水生昆虫や藻類などを食べます。



ドジョウ

体の長さは10cm以上になります。体の色は、腹を除いて褐色で、小さな黒い斑点があります。ひげが5対あります。



ホトケドジョウ

体の長さは最大で7cmで、ひげが4対あります。ドジョウに比べて体が短く、頭はまるく、体色は茶色、斑点がないものと黒い斑点があるものがあります。



モツゴ

体の長さは5cm以下、口が上向きについており、黒い縦しまがあります。通称クチボソと呼ばれています。



ユリ

ユリの咲き方には、3つのタイプがあります。花を横向きに咲かせ、花びらなどの先があまり反り返らないユリ。花を横向きに咲かせ、花びらなどの先が大きく反り返るユリ。花を上向きに咲かせ、花びらなどにすき間があるユリです。



水辺愛護会について

和泉川には、地域のみなさんを中心とした水辺愛護会があり、ボランティア活動として、日常清掃や除草などの作業を行っています。水辺愛護会のみなさんの地道な活動によって、私たちは気持ちよく川を楽しむことができ、憩いの場・コミュニケーションの場にもなっています。

いきものを観察してみよう

緑がいっぱいの和泉川には多くのいきものが生息しています。水辺を歩きながらどんないきものがいるか、用具を準備して探してみよう。

準備する用具

- 運動靴 (マリンシューズ)
- タモあみ
- バケツ
- 双眼鏡
- カメラ など

魚の調べ方

川岸に草が生い茂っている場所など魚がいない場所を見つけて、そっとタモあみを底につけて置き、足で踏んで、驚いた魚が逃げていくのをタモあみで待ち受けます。採集した魚はビニール袋に入れて、最後に写真を撮って放しましょう。写真はもとに種類を調べましょう。

鳥の調べ方

双眼鏡で見ながら観察し、種類を考えましょう。また、鳴き声も重要なので、その特徴も記録しておきましょう。

川にいきものを放さないで

和泉川では、もともとこの川に生息していない外来種^{※2}が見られます。中には、育てられなくなって放してしまったりと思われるものもいます。外来種は、生態系が強いものが多く、生態系を崩したり、生物の遺伝子に影響を与えたりする場合があります。昔から生息している魚たちを守るためにも、いきものがくらす環境について考えてみましょう。

【協力】
平成25年度瀬谷コースフォーラム
瀬谷環境ネット
横浜市環境創造局環境科学研究所

【発行】
横浜市瀬谷区役所区政推進課
平成25年10月 初版
平成27年2月 2版
平成31年1月 3版
横浜市瀬谷区二ツ橋町190
TEL: 045-367-5632

和泉川で 自然とふれあおう！

和泉川は、旭区との境にある瀬谷市民の森付近を源流として、瀬谷区・泉区をとおり、戸塚区で境川に合流しています。

瀬谷区内では、二ツ橋～宮沢の約2.8km区間で6つの水辺（二ツ橋の水辺、宮沢ふれあい水辺、東山の水辺、関ヶ原の水辺、寺ノ脇の水辺、宮沢遊水地）が整備されており、この長い区間が水と緑で繋がっていることが一番の魅力です。

以前の和泉川は、鉄の板で仕切られたドブ川のような風景でした。また、雨が降ると水があふれ水害が多く起こっていました。

整備された今では、水がきれいになったことで多くのいきものが観測でき、子どもたちの楽しい声が聞こえ、自然の息吹を感じることができるスポットとなっています。

6つの水辺を中心とした豊かな自然にふれあいながら散歩、水遊び、野鳥観察やいきものとのふれあいを楽しんでください。

【東山の水辺】



before after

和泉川へのアクセス

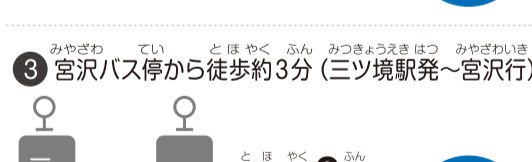
1 三ツ境駅から厚木街道沿いに、徒歩約15分



2 原中学校前バス停から徒歩約7分
(三ツ境駅発～宮沢行、いすみ野駅行)



3 宮沢バス停から徒歩約3分 (三ツ境駅発～宮沢行)



バードウォッチング

やちようかんまつ たの かつたあ 野鳥観察を楽しむ方々が集まるポイントです。



めがね橋
水面に映った橋と併せると、めがねの形に見えます。橋の下は日陰で涼しいです。



赤間おとなり橋
まわ おと な しほるい な ぐまづつ めづらほし 回すと音が鳴る、8種類の鳴り車が付いた珍しい橋です。

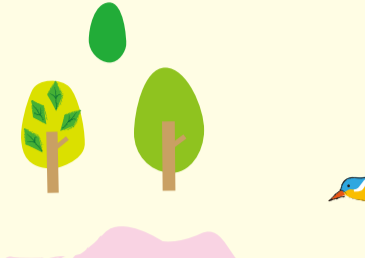


川のいたる所に、川を渡るための小さな橋（通称：もくり橋）がかかっています。川の風景に合うようなデザインとなっており、子どもたちが集まって水遊びをしています。



▲屋根つきの木製ベンチです。

いきものたちの大きさを測ってみよう！



桜並木
さくらなみき つつ 桜並木が続きます。はる はなみ たの ひと 春は花見を楽しむ人でいっぱいです。



▲たくさんの花が咲いています。



やすらぎ橋
橋の上にはベンチがあります。また川の中に、ゴミなどをひっかけるための木のくいが多く置かれています。

二ツ橋のアジサイ

約1,000本のアジサイが植えられています。



- 最寄駅・バス停からのアクセス
- 散歩ルート
- 水辺・遊水地
- 橋
- もくり橋
- 階段
- ★ ウォーキングサイン



宮沢遊水地

多くのいきものが生息する小川や池、広場があり、いきもの観察や子どもたちの遊び場として人気です。また、大雨が降った時に川があふれないよう、一時的に川の水をためておく役割もあります。めがね橋がシンボルです。



関ヶ原の水辺

水辺に接する木の種類が豊富で、さまざまな鳥が安息しており、ふるさと感じることができる憩いの場となっています。



東山の水辺

桜や梅の木が並び、春を感じる水辺です。広々とした原っぱがあり、家族連れも多く訪れています。また、東山の樹林と一体になっており、6月から7月には一面のアジサイも楽しめます。



宮沢ふれあいの水辺

イロハモミジを中心とした、秋の彩りをイメージした水辺です。区民の方々と一緒に整備内容や愛称を検討し、平成25年3月に完成しました。



二ツ橋の水辺

数多く車が通る厚木街道から一步入ると、緑いっぱい水辺が広がります。要護会の方が育てている沿路沿いの花や、休憩できるベンチが特徴です。瀬谷区制50周年を記念し、新たなアジサイの名所として約1,000本のアジサイを植樹しました。

いきものから評価した和泉川の水質



寺ノ脇の水辺

隣接する公園や森からの湧水が和泉川に流れこんでおり、水辺と緑あふれる公園とが一体となったスポットです。

フィールドマナー

自然いっぱいの和泉川を安全に楽しむためにも、ルールを守って遊びましょう。

- ゴミ袋: ゴミは必ず持ち帰りましょう。また、ポイ捨ては絶対にやめましょう。
- ペット: ペットは繋いで散歩してフンは持ち帰りましょう。
- いきもの: いきものをむやみに持ち帰ったり、持ち込んだりするのはやめましょう。
- 雨: 雨が降りそうになったら、すぐに川からは離れましょう。また、雨が降っているときは、川に近づかないようにしましょう。

ゴミは捨てないで！

和泉川にもゴミがたくさん落ちています。タバコの吸い殻、缶、お菓子の袋、傘、中にはマットレスや新聞まで…。水を呑むと重くなり、拾うのにも一苦労です。人が捨てるゴミで水が汚れ、いきものに悪影響を及ぼします。いきものために、また、みなさんに気持ち良く川を利用してもらうためにも、ゴミは持ち帰り、水緑たっぷりの和泉川をつくりましょう。

